

金沢区地域子育て支援拠点事業 5か年のまとめ 実施概要

対象事業	金沢区地域子育て支援拠点事業
対象期間	平成4年度～令和8年度
事業の実施者	公益社団法人 横浜YMCA
	金沢区こども家庭支援課
実施目的	1 今期5か年の事業を振り返り、成果や課題、今後の方向性などを整理します。 2 市民協働事業の実践を通じて経験を蓄積し、その後の市民協働や市民協働事業に活かしていくため、また、当該協働事業の当事者だけでなく、多くの市民等の協働への参加意欲を高めるため、当該評価を公開し、透明性を高めます。
実施時期	令和8年6月
実施について	拠点事業は、区と運営法人との協働により進めています。 毎年度、事業ごとに定めている「目指す拠点の姿」に沿って役割分担し、行動計画を立て、年度末には「振り返りの視点」に沿って取組の振り返りを行いながら事業を進めてきました。また、中間期には「有識者を交えた事業評価」を実施し、事業の運営・管理にフィードバックして拠点運営状況の向上を図っています。 今回は、中間期に行った「有識者を交えた事業評価」にその後の事業振り返りを加え、今期5か年のまとめとしました。 【参考】拠点の7事業 1 乳幼児の遊びと育ちの場及びその養育者の交流の場の提供(親子の居場所事業) 2 子育てに関する相談及び関係機関との連携に関すること(子育て相談事業) 3 子育てに関する情報の収集及び提供に関すること(情報収集・提供事業) 4 子育てに関する支援活動を行う者同士の連携に関すること(ネットワーク事業) 5 子育てに関する支援活動を行う者の育成、支援に関すること(人材育成、活動支援事業) 6 地域の住民同士で子どもを預け、預かる支え合いの促進に関すること (横浜子育てサポートシステム区支部事務局運営事業) 7 子育て家庭のニーズに応じた施設・事業等の利用の支援に関すること(利用者支援事業)

協働事業プロセス相互検証シート

1 事業計画段階

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

- ・年度の振り返りの時期に課題を共有し、目指す拠点の姿に近づくためにそれぞれが何をできるかを考え、話し合っ役割分担を決めることができた。
- ・計画段階で相互の役割を確認し、目標を共有しながら事業計画を作成することができた。

【今後改善が必要と思われること】

- ・子育て家庭や子育て支援に関わる市民のニーズを把握して共有するとともに、事業の目標と実施方法を話し合っ決める必要がある。

2 事業実施段階

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

- ・半期ごとに振り返りを行い、事業の進捗に応じて、目標、ニーズ、対象、実施方法などをふりかえり、修正しながら取り組むことができた。
- ・毎月の定例会で事業の実績等の共有がなされており、懸案事項がある場合は、区と拠点で相談しあえる関係ができています。
- ・拠点事業や区の事業にお互いが参加し、協力しあう関係ができています。

【今後改善が必要と思われること】

- ・イベント・事業やボランティア活動について、区民への発信や働きかけの方法を検討し、より区民の参加を促す必要がある。

3 事業の振り返り段階

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

- ・5か年の振り返りを行う中で、お互いの実施内容について再認識し、お互いの考えに相違点がなかったことを、確認することができた。

【今後改善が必要と思われること】

- ・子育て家庭や子育て支援に関わる市民が満足を得られたか、アンケート調査や話し合いによって確認する必要がある。
- ・単年度のアンケートの分析は行ったが、経年比較はできていなかったため、長期的な視野で拠点利用者の傾向の把握に努める必要がある。